

平成二十三年度入学式 校長式辞

爽やかな春風の今日の良き日に、多数のご来賓・保護者の皆様、そして、高原高等学校校長矢田憲太郎様、教職員、生徒の皆さんに出席していただき、本校に本年度より新たに設置されます農業科と福祉科の開科式並びに平成二十三年度小林秀峰高等学校第四回入学式を挙行できますことを、心から嬉しく思います。

ただ今、小林秀峰高等学校の四期生として入学を許可いたしました二百四十一名の皆さん、入学おめでとうございます。教職員及び在校生共々、皆さんに会える今日、この日を心待ちにしていました。

本校は、本年度より、高原高等学校との統合により、農業科と福祉科が新たに加わり、農業、工業、商業、福祉の四つの学科からなる総合制専門高校となりました。小林工業・小林商業・高原高等学校のよき伝統と、秀峰一期生が築いてきた新しい伝統「秀峰ブランド」をしっかり引き継ぎ、「知・誠・愛」の校訓の下、さらに、日々、充実・発展していこうとしている学校です。新体育館も完成し、農業科の食品加工棟や福祉科の介護実習棟などの最新の施設・設備も整い、充実した学習環境の中で、これからの学校生活において、大いに学び成長し、社会に巣立ってほしいと願っています。

さて、「日本一の総合制専門高校」を目指している本校では、皆さんが進路目標を達成できるように「基礎学力をしっかり身に付ける」、「資格取得に挑戦する」、「人間力を向上させる」ということに、生徒と教職員が一緒になって取り組んでいます。皆さんも、しっかりと「目標」を立て、「素直」な気持ちを心掛け、多くの友と「切磋琢磨」し、大きく成長することを心掛けてほしいと思います。

そこで、秀峰一期生として、初めて「日本一」となった皆さんの先輩のことを話したいと思います。昨年八月に行なわれた全国高校総合体育大会、重量挙げで見事優勝した、機械科卒業の竹田善彦選手です。

竹田選手は、高校入学後、重量挙げを始め、わずか二年余りで日本一に輝きました。肩を負傷したこともありましたが、成功のイメージを頭に描き、直向きな努力を積み重ねての栄光でした。また、礼儀正しく、勉学と部活動を立派に両立させ、社会人としての「人間力」もしっかり身に付けた生徒の一人であり、誇りに思います。

このように本校では、生徒が部活動や専門教科、学校行事、ボランティア活動などに真剣に取り組み、先生方も熱心に指導にあたっています。「日本一」になれるかどうかは、皆さんの努力次第です。高校生活における目標に向かって最善の取り組みをしてほしいと思います。

口蹄疫、鳥インフルエンザ、新燃岳噴火、そして東日本大震災と、日本は大変な状況におかれ、報道も毎日、各地の悲惨な状況を伝えています。しかし、その中であっても、多くの人々が復興を目指して頑張っています。若い人たちの素晴らしい発言や行動も頼もしく思い、必ず日本は立ち直ると信じています。皆さんが社会に出る時、まさにその復興の

時です。この三年間を有意義に過ごし、蓄えた力を、社会で大いに発揮してほしいと思います。

保護者の皆様に申し上げます。本日は、お子様のご入学おめでとうございます。四年目を迎えました本校が、皆様のかげがえのないお子様を本日より、秀峰生としてお預かり致します。保護者の皆様のご理解・ご協力をいただきながら、本校教職員一丸となって、最善を尽くしていく所存です。

ご来賓の皆様、日頃から本校教育に深いご理解と一方ならぬご支援を賜り、感謝申し上げます。小林秀峰高等学校は、地域の「宝」「誇り」であり続けるように、「信頼される学校づくり」に邁進してまいります。今後とも、本校生徒の健全育成と本校の発展のために、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

それでは、秀峰四期生として入学した皆さんが、今日の感激と喜びを忘れずに、充実した高校生活を送ることを期待して、式辞とします。

平成二十三年年四月九日

宮崎県立小林秀峰高等学校

校 長 中村正宏